



途園小中高を一つなぎに 切れぬ教育を

市教育委員会は10月4・5日、御前崎中学校と浜岡中学校でスクラム研究会を開催しました。市内の幼保こども園から高校までの教員約220人が、それぞれの中学校を訪れ授業を参観しました。その後のグループ協議で授業改善やとぎれない教育について話し合い、教育観などの共有を図りました。それぞれの校区で子どもの成長・学習をどう支えていくか、現在の様子や課題について話し合いました。



天秋深まるコスモスコンサート 使の歌声花畑に響く

コスモスの花摘みとコンサートが10月15日、市立御前崎総合病院の屋上にある花畑で開催されました。大橋弘幸病院長は「子どもたちの天使のような歌声は病気にも良い。コンサートを楽しんで」とあいさつをしました。

見ごろを迎えたコスモス畑を前に入院患者や市民らが、市少年少女合唱団の歌声に手拍子したり、体を揺らしたり秋のコンサートを楽しみました。

世「こんな風に遊んでたんだよ」 代を超えて交流を

シニア世代に向けた生涯学習支援の一環であるシニアスクールが10月18日、白羽小学校で実施されました。「昔の遊び」を題材にし、シニアスクールの受講者32人が1・2年生93人にお手玉やたが回し、あやとりなどを教え、一緒に楽しみました。シニアスクール受講者は「得意なことでも人に教えるとなると急に難しく感じる」と話しながらも、生き生きとした表情で児童らに遊び方を教えていました。



多より良いケアを目指して 職種で話し相互理解へ

高齢者に関わる職種が一堂に会し、互いの仕事を理解するきっかけづくりを目的に第2回多職種連携会議が10月20日、原子力広報研修センターで実施され、医師や歯科医師、看護師、薬剤師、主任ケアマネジャーなど約100人が参加しました。東海清風園の山本施設長は「在宅ケアを皆で支えられるようにしていきたい。この会議が大きな一歩となるよう願っている」とあいさつしました。